

社会科学習指導案

令和2年11月17日(火) 第6学年1組(6年1組教室) 指導者 樋口 晃

【単元】明治の国づくりを進めた人々

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃藩置県や四民平等などの諸改革が行われ, 欧米の文化を取り入れたことにより, 国の仕組みや人々の生活が変化したことについての理解と絵図や年表などの資料で調べ, まとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸時代後期と明治時代初期を比較して, 明治政府による近代化政策や文明開化が我が国に与えた影響を考えるとともに, それに携わった人々の思いや歴史を学ぶ意味を考え, 表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の近代化への動きや明治時代に生きた人々の業績を主体的に調べ, 学習を解決しようとする態度と, 我が国の歴史を大切にして国を愛する心情
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料から歴史的な事象や人物の業績を読み取ったり, ノートや年表にまとめたりすることができる。 ・ 我が国の江戸時代後期までにおける, 各時代の人物の取組を手掛かりとし, 各時代の様子や歴史の展開を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的な事象を比較したり, それらの共通点や相違点から, 各時代の特徴を考えたりして, 表現できるようになっている。 ・ 歴史的な人物の業績の意味について, 出来事と世の中の変化を関連付けて考え, 表現できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的な事象や人物の業績に疑問や調べたいことをもち, 問題を主体的に追究してきた。 ・ 維新の三傑や福沢諭吉らに関する資料を自ら用意するなど, 明治時代に対する関心が強い。
価値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治時代に我が国では近代化が進められた。これは, 欧米諸国の帝国主義に伴う世界進出から日本の国土や自治を守るために明治政府がわずか2年の間に次々に政策を整備し, 国力を増強しようとしていたためである。それは, 我が国を守ろうと英知を結集した, 当時の為政者達の計り知れない思いがあってこそ成し遂げられたものである。そして, 政府の諸政策の基, この時代に生きた人々の苦労や努力は, その後の我が国の不平等条約改正などの国際的な立場の改善につながるものであり, 現在に至るまでの我が国の変遷においても国土や自治を守れたか否かを分ける大きな分岐点であったと言える。 ・ 黒船の来航や, 廃藩置県や四民平等などの改革, 文明開化などが我が国の近代化を進めたことを知ることができる。 ・ 歴史的な人物の思いや業績が人々の生活に大きな影響を与えているという転移可能な概念的知識を確かに行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大久保利通, 西郷隆盛や板垣退助らの思いを, それぞれの取組と世の変化との因果関係の共通点を考えることで, 当時の日本が欧米に負けない国家を目指し, 富国強兵に努めるなど近代化を進めていたことを表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の姿や制度を短い期間で大きく変え, 近代化を進めた人々の思いに感銘を受けたり, その思いが影響を及ぼした歴史の展開に関心をもつことができる。
見方・考え方	<p>明治時代における近代化について, 政治基盤の移り変わりによる政策の変化に着目して捉え, 近代化を進めた人々の取組と我が国に与えた影響とを関連付けたり総合したりして, その思いを考えること。</p>		
今後の学習	<p>6年「世界に歩み出した日本」で, 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦, 日本国憲法の制定, オリンピック・パラリンピックの開催などの様子を捉え, この頃の世の中の様子や歴史を学ぶ意味を考える学習へと発展していく。</p>		

指導と評価の計画

目標	明治時代に、明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解する。			
評価規準	<p>(①知・技) 廃藩置県や四民平等などの諸改革が行われ、欧米の文化を取り入れたことにより、国の仕組みや人々の生活が近代化したことを理解している。 黒船の来航や文明開化等の絵図や年表等の資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。</p> <p>(②思・判・表) 我が国の近代化について、学習問題を見いだしたり、新政府による近代化政策や文明開化が我が国や国民に与えた影響を考え、表現している。</p> <p>(③主体的態度) 我が国の近代化への動きや歴史を動かした人物の働きに関心を持ち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○明治時代の始まりを調べる。	○江戸時代の終焉の理由と黒船の来航とを関連付けられるように、江戸時代の終焉を時代の流れを追ってまとめる図を用意する。	◇黒船の来航をきっかけに我が国が開国したこと、江戸幕府の政権返上や江戸城の明け渡しが行われ明治時代が始まったことを記述している。 <学習プリント①>
	1	○明治時代の近代化の様子に対する疑問や調べたいことを基に学習問題を立てる。 学習問題 明治時代の変化は、誰のどのような思いから起こったのだろう ○学習問題について予想し、調べる計画を立てる。 <調べる内容> ・大久保利通の思い ・西郷隆盛や板垣退助の思い ・明治時代の庶民の思い	○明治時代の近代化の様子について疑問や調べたいことをもてるように、江戸時代末と明治時代初期の日本橋近くの様子がわかる資料を用意する。 ○明治時代の近代化の様子について予想したことを焦点化できるように、予想を線でつないだり丸で囲んだりしてキーワード化する図を用意する。	◇明治維新の近代化の様子に関心を持ち、疑問や調べたいことを記述している。 <学習プリント②> ◇明治時代の近代化の様子について予想したことを基に、学習問題の解決につながる計画を考え、記述している。 <学習プリント③>
追究する	1	○明治政府の政策について調べ、中心となり政策を進めた大久保利通の思いを話し合う。(本時)	○大久保利通が短期間で版籍奉還から廃藩置県、殖産興業、徴兵令、地租改正などの政策を進めた思いの因果関係を見いだせるように、考えと根拠をまとめる図が入った学習シートを用意する。	◇大久保利通の、「欧米から日本を守るために富国強兵を進めたい。」という思いから、諸政策が短期間で進められたことを記述している。 <学習シート①>
	1	○政府に不満をもった西郷隆盛や板垣退助たちが起こした出来事について調べ、その思いを話し合う。	○言論による主張が増えた原因と西南戦争とを関連付けられるように、西南戦争から自由民権運動の広がりまでのつながりを矢印で示す図を用意する。	◇板垣退助らの、「言論による主張で政治の在り方を変えたい。」という思いから、自由民権運動が広まったことを記述している。 <ノート①>
	1	○明治時代の庶民の生活の変化について調べ、当時の庶民の思いを話し合う。	○明治時代の生活と江戸時代の生活とを比較して変化の様子に気付けるように、衣食住や交通の様子をまとめる二次元表を用意する。	◇福沢諭吉が「学問のすゝめ」で紹介した、欧米的な思想をよいと思う人々が増加し、生活の欧米化が進んだことを記述している。 <ノート①>
・ま生とかめする	1	○学習問題の答えを出す。	○明治時代の人々の思いの共通点を見いだせるように、明治時代の出来事やそれに関わった人々の思いを並べて書く表を用意する。	◇日本を欧米と対等な立場にしようという人々の思いによって、欧米に負けないような近代的な国家が形成されたことを記述している。 <学習プリント②>

本時の学習(3/6時間目)

ねらい 版籍奉還から廃藩置県、殖産興業、徴兵令、地租改正などの明治政府の諸政策について調べ、政策を中心となって進めた大久保利通の思いを諸政策の内容と関連付けて考えることを通して、我が国が富国強兵を目指したことを理解する。

評価項目 大久保利通の、「欧米から日本を守るために富国強兵を進めたい。」という思いから、諸政策が短期間で進められたことを記述している。
 <学習シート①>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・わずか2年の間にたくさんの政策が出されたのだな。大久保利通はどんな思いで政策を進めていたのかな。 (問題意識) </div> <p>めあて：久保利通はどんな思いをもって、わずか2年あまりで諸政策を進めたのだろう</p>	<p>○明治政府の諸政策に関する事実を基に、その中心となった大久保利通の思いを考えるという本時の学習の見通しをもてるように、大久保利通の写真、明治政府の政策が進められた期間が分かる年表、学習計画表を提示する。</p>
<p>2 大久保利通が短い期間で諸政策を進めた思いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米の勢力範囲を示す地図を見ると、世界の大部分が勢力下にある。それに、イギリス船が中国船を沈めている資料もある。早く日本を強くしないと、欧米にやられてしまそうだ。これらの資料を並べると、大久保さんは日本を早く強くしたいと思っていたと思うな。 ・強い国にするためには武器を用意するお金も必要だ。器械による製糸生産量が伸びているグラフや、税収が安定化しているグラフを使って日本を豊かにしたいという思いもあったことが説明できるな。 <p>3 大久保利通が短い期間で諸政策を進めた思いを基に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達は徴兵令で兵士を集めたことの資料を根拠にして、日本を強くしたいという大久保さんの思いを説明していたな。豊かにしたいという思いについての部分が弱かったから、そのことを話し合ってみよう。 ・強くしたいという思いが強いということだったのか。でも、豊かにしたいという思いの根拠が殖産興業のことだけだったのが、地租改正の税収の部分にも目を向けられたね。 ・みんなの考えをまとめていくと、富国強兵という言葉でまとめられそうだね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保利通は、日本を早く豊かで強い国にしたいという思いをもっていったから、わずか2年あまりで数々の政策を進めたのだな。 (問題解決をした意識) </div>	<p>○大久保利通の思いに対する自分の考えを明確化できるように、自分の考えと根拠をまとめる学習シートをロイノートで配付し、根拠となる資料を貼付して自分の考えを記述するよう促す。</p> <p>○それぞれの政策と大久保利通の思いとを関連付けられるように、諸政策が必要であった理由という視点を提示する。</p> <p>○自他の考えや根拠の共通点や相違点を見いだせるように、自分の考えや根拠を視覚化した学習シートを使い3～4人の小集団で自分の考えた大久保利通の思いやその根拠を伝え合うよう促す。</p> <p>○自分の考えや根拠の不確かさを自覚できるように、着目した点に色を付けたり資料を拡大したり指さしたりして、自分の考えや根拠を説明している児童を称賛する。</p> <p>○複数の根拠を関連付けて大久保利通の思いをまとめられるように、発表された内容ごとに場所を分けたり関係性を線で結んだりして板書し、共通点を問いかける。</p> <p>○本時の学習成果を実感できるように、「今日分かったこと、納得できたこと」という視点を提示し振り返りを記述するよう促す。</p> <p>○次時への見通しをもてるように、大久保利通による諸政策への国民全体の満足度を問いかけるとともに、学習計画の次時の追究内容を確認するよう促す。</p>
<p>4 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保さんは豊かで強い国を目指して頑張ったのだな。大きな変化がある政策だからとても強い思いをもって、政策を進めていたと感じたよ。 ・でも、いろいろなことを急に進められて不満をもった人もたくさんいたみたいだな。不満をもった人たちは、何もしないで受け入れたのかな。江戸時代なら一揆や打ち壊しがあったな。次はこのことを調べてみたいな。 	

授業の振り返り

※授業の様子は、本校 HP でも紹介しています。
【教育研究→令和2年度提案・部内授業の様子】

機器	タブレット（1人1台）
使用アプリ	ロイロノート
機能等	カメラ トリミング 色付け（資料加工）

○実際の授業の流れと児童の様子

【導入】 本時の導入において、児童は家庭で調べてきた、大久保利通が中心となって進めた「版籍奉還から廃藩置県」、「殖産興業」、「徴兵令」、「地租改正」といった政策の内容を発表し、それぞれの政策の内容の確認を行った。次に、それらの政策が世に出された年を確認し、児童はおよそ2年間という短期間で多くの政策が行われたことに目を向け、本時のめあて「大久保利通は、どのような思いで諸政策をわずか2年で進めたのだろうか」をつかんだ。

【展開】 児童は、大久保がどのような思いで諸政策を進めたかに対する自分の考えを、タブレット内の学習シートに記述した。そして、タブレットを操作し、その根拠となる資料をロイロノートの資料箱から取り出したり、教科書や資料集の図をカメラ機能で撮影したりして貼付した。その際に、複数ある資料から、イギリス船が中国船を攻撃する資料と欧米諸国の勢力下に置かれた範囲の図を並列に並べたり、地租改正前の不安定な税金と地租改正後の安定した税金の資料を線でつないだりして、日本の危機を感じたり、安定した税金で国を豊かにしたいと思ったりする、大久保の思いを述べていた。

次に、児童は、このシートを使い大久保の思いを、根拠となる資料を基にして話し合った。そして、以下のように児童Aが児童Bの考えを受けて、



＜自分の考えとその根拠を示した学習シート＞

自分の考えを変容させる姿が見られた。

A：「大久保は、日本を強くして守りたいという思いで早く政策を進めたのだと思うよ。イギリスが中国の船を攻撃しているし、欧米の力が及んでいる地域がどんどん広がっている資料があるよ。」

B：「確かに。だから徴兵令も必要なのだね。でも、国を豊かにしたいという思いもあると私は思うな。飢饉があったとき、税金が減って国が貧しくなっただろうから、そうならないように工業を盛んにしたり、地租改正で税金を安定させたりしたのだと思うよ。このグラフを見て。」

A：「本当だ。税金が安定している。これなら何かあっても対応できるね。それに、武器も安定して買って強さにもつながる。豊かさも必要なことがわかるね。つまり、大久保は日本を豊かにして強い国にしたいという思いだったと言えるね。」

これらは、タブレットを活用して、カメラ機能で教科書や資料集、持参した資料から自分の意図する資料を取捨選択して撮影したり、トリミングや色付けなどの加工をしたりして、大久保の思いと諸政策の必要性との因果関係の関連付けを視覚化して行うことが容易になったことにより、自他の考えや根拠の共通点や相違点に気付けたことで現れた姿だと考えられる。一方で、すぐに気付ける自他の共通点にばかり意識が向いてしまい、考えを伝え合うと、すぐに納得し合い、話し合いを終えてしまう姿も見られた。

【終末】 児童は、グループで話し合った内容を発表し、それぞれの関係性や根拠とした資料を基に総合し、一刻も早く日本を豊かで強い国にしようとしていたという大久保利通の思いを、欧米の世界進出と関連付けながら説明した。最後に、児童が本時でわかったこと、納得できたことという視点で振り返りを行い、当時の日本の置かれた世界的な立場や大久保利通の思い等について記述した。

○授業改善に向けて

・自他の考えの相違点に、より着目できるように、ICTの情報共有機能を使い、あらかじめ自他の考えや根拠を比較して、相違点を見だし、他者の考えに対する自分の捉えや質問を考えておけるとよい。